

# 平成27年 筑後川・矢部川水系の水質現況

平成27年1月～12月の一級河川筑後川水系、矢部川水系の直轄管理区間（国の管理する区間）における水質現況は、以下のとおりです。

なお、九州地方整備局が公表している「[平成27年九州地方一級河川の水質現況について【PDF】](#)」についても参考にご覧ください。

## 1. 環境基準の満足状況について

### 【調査結果】

- ・筑後川水系 : **全13地点において環境基準値を満足しました。**
- ・矢部川水系 : **全5地点において環境基準値を満足しました。**

※調査位置は巻末図面を参照してください。

## 2. 新しい水質指標による水質の評価(住民との協働調査)

- ・従来、水質はBODにより評価してきましたが、平成17年度より「人と河川との豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」といった、**住民の視点に立った新しい水質指標による評価を実施**しています。
- ・実施にあたっては、**住民と河川管理者の協働で河川水質の評価を行って**います。

### 調査地点

「①人と河川の豊かなふれあいの確保」については、以下3地点

筑後川:大山水辺プラザ(日田市)、台霧の瀬(日田市)

矢部川:船小屋(筑後市、みやま市)

「②豊かな生態系の確保」については、以下3地点

筑後川:大山水辺プラザ(日田市)、台霧の瀬(日田市)

矢部川:船小屋(筑後市、みやま市)

「③利用しやすい水質の確保」については、以下4地点

筑後川:三隈大橋(日田市)、島内堰(日田市)、瀬ノ下(久留米市)

酒井東橋(鳥栖市)

①人と河川の豊かなふれあいの確保

住民の方々との協働調査項目

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル※1)				糞便性 大腸菌群数 (個/100ml) ※4)
			ゴミの量	透視度 (cm) ※2)	川底の感触 ※3)	水におおい	
A	顔を川の水につけやすい (泳ぎたいと思うきれいな川)		川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	快適である	不快でない	100以下
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない		1000以下
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である	水に鼻を近づけると不快な臭いを感じる	1000を超える
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満		水に鼻を近づけるととても不快な臭いを感じる	

※1) 評価レベルについては、河川の状況や住民の感じ方によって異なるため、住民による感覚調査等を実施し、設定することが望ましい。

※2) 水の濁り具合を示す指標で、値が大きいかほど濁りが少ない。実際には100cmを超える水質レベルを設定すべきであり、今後の測定方法の開発が望まれる。

※3) 川底の感触とは、河床の礫に付着した有機物や藻類によるヌルヌル感を対象とする。そのため、川底の感触は、ダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

※4) 人や動物の排泄物に由来する大腸菌群により、水の汚染状況を調べる指標。

【調査結果】

- ・ 筑後川大山水辺プラザ地点は「A：顔を川の水につけやすい（1番上のランク）」という評価でした。
- ・ 筑後川台霧の瀬地点、矢部川船小屋地点は「B：川の中に入って遊びやすい（2番目のランク）」という評価でした。

## ②豊かな生態系の確保

ランク	説明	評価項目と評価レベル		
		DO(mg/ℓ) *1)	NH4-N(mg/ℓ) *2)	水生生物の生息 *3)
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	II. 少しきたない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下	III. きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	IV. 大変きたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等

※1) 溶存酸素。水生生物が生きていくうえで不可欠な水中の酸素量。

※2) アンモニウム態窒素。水生生物に影響を与える毒性を評価する指標。

※3) 水生生物の生息は流れのある瀬で調査を実施する。そのため、水生生物の生息はダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

### 【調査結果】

・筑後川大山水辺プラザ地点、筑後川台霧の瀬地点、矢部川船小屋地点は「A：非常に良好（1番上のランク）」という評価でした。

## ③利用しやすい水質の確保

ランク	説明	評価項目と評価レベル			
		安全性	快適性	維持管理性	維持管理性
		トリハロメタン 生成能(μg/ℓ) *1)	2-MIB (ng/ℓ) *2)	ジオスミン (ng/ℓ) *2)	NH4-N (mg/ℓ) *3)
A	より利用しやすい	100以下	5以下	10以下	0.1以下
B	利用しやすい		20以下	20以下	0.3以下
C	利用するためには高度な処理が必要	100を超えるもの	20を超えるもの	20を超えるもの	0.3を超えるもの

※1) トリハロメタン（発ガン性有り）の潜在的な生成量を示す項目で、水の安全性を評価する指標。

※2) カビ臭に関連する項目で、水の臭いや味覚を評価する指標。

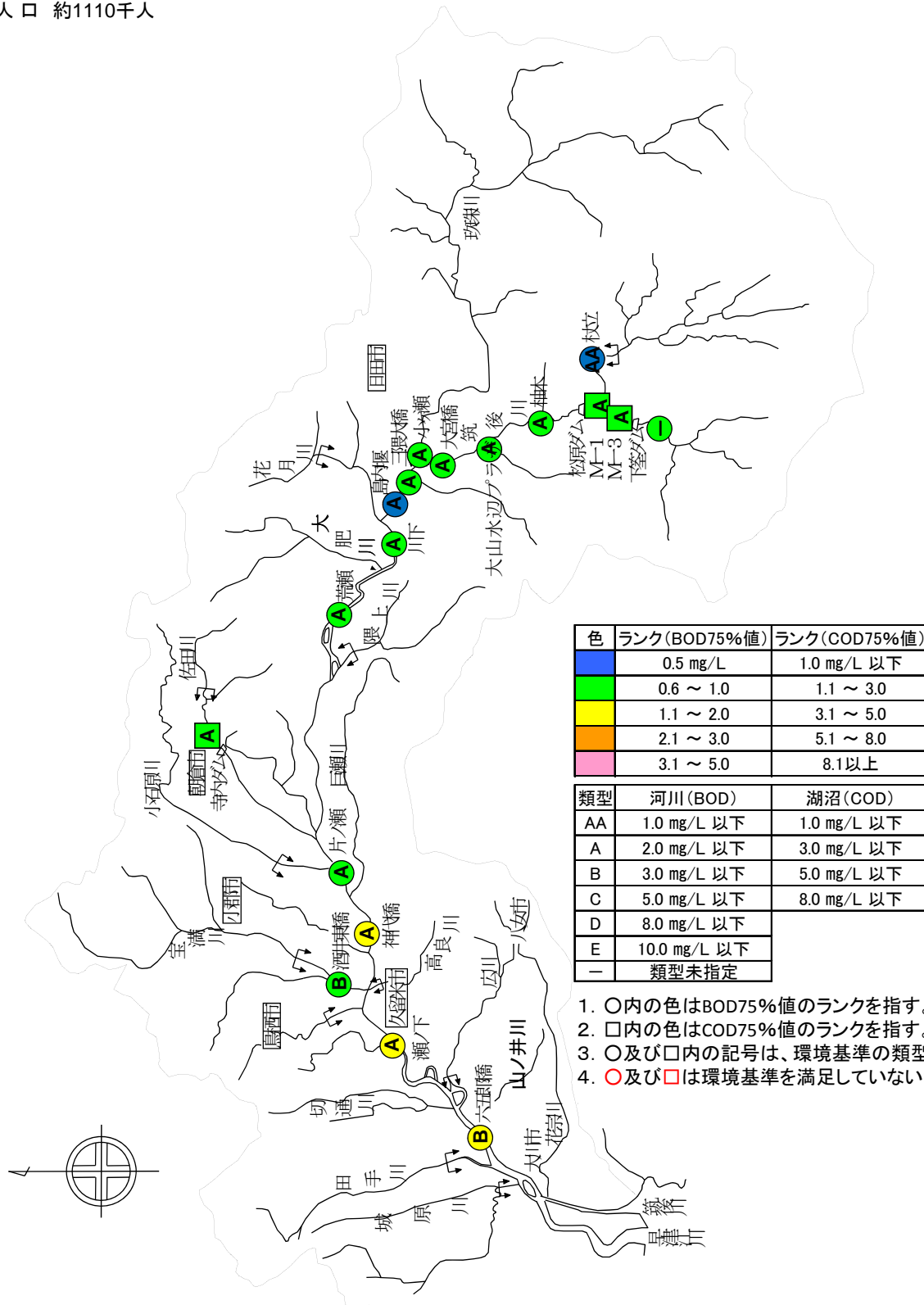
※3) NH4-Nが多いと多量の塩素が必要となるため、水道水としての維持管理等を評価する指標。

### 【調査結果】

・筑後川三隈大橋地点、島内堰地点、瀬ノ下地点、酒井東橋地点は「A：より利用しやすい（1番上のランク）」という評価でした。

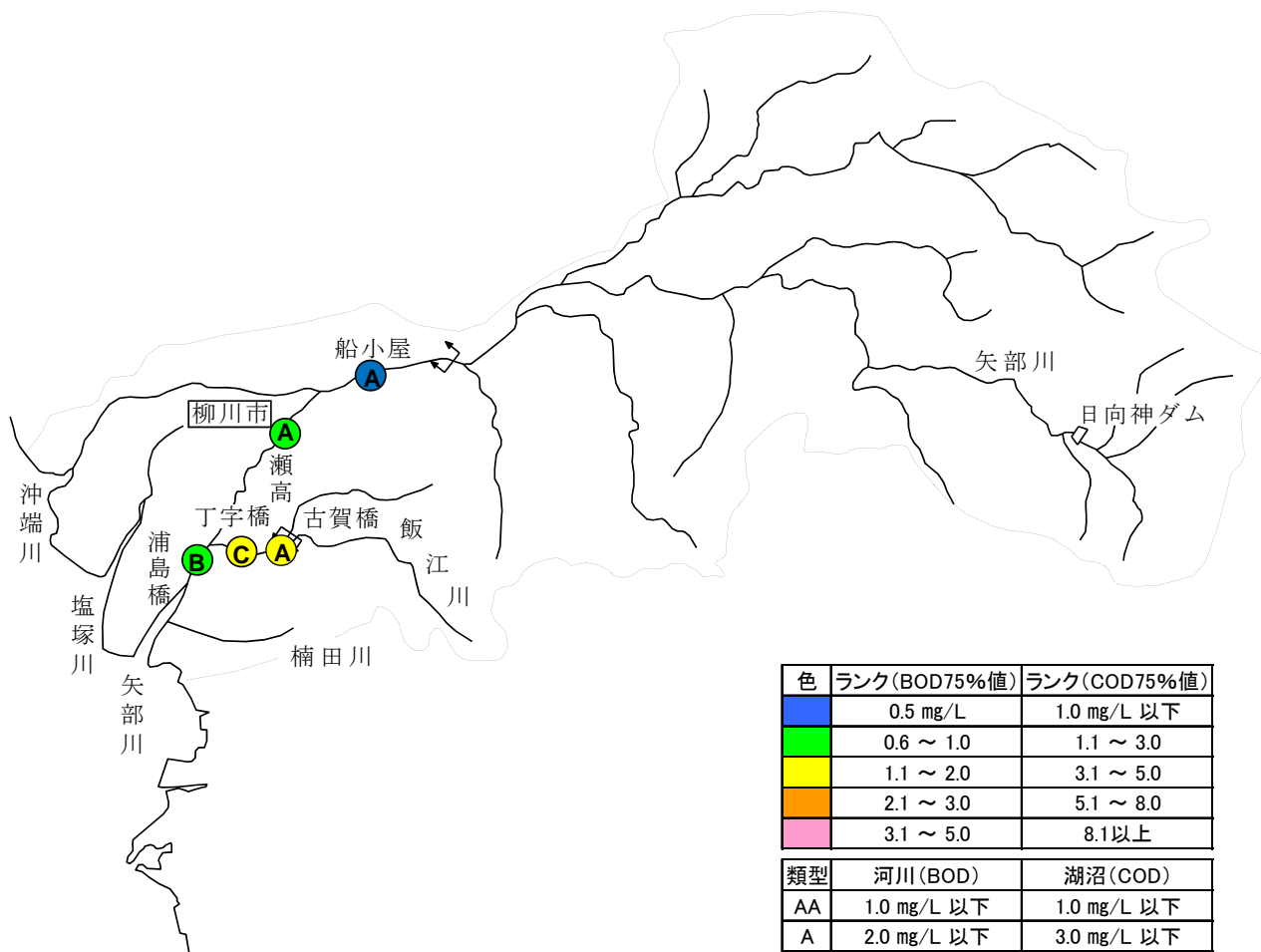
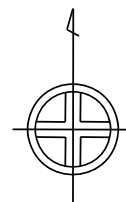
# 筑後川

流域面積 2,860km<sup>2</sup>  
 幹線流路延長 143km  
 流域内人口 約1110千人



# 矢部川

流域面積 647km<sup>2</sup>  
 幹線流路延長 61km  
 流域内人口 約180千人



色	ランク(BOD75%値)	ランク(COD75%値)
Blue	0.5 mg/L	1.0 mg/L 以下
Green	0.6 ~ 1.0	1.1 ~ 3.0
Yellow	1.1 ~ 2.0	3.1 ~ 5.0
Orange	2.1 ~ 3.0	5.1 ~ 8.0
Pink	3.1 ~ 5.0	8.1以上

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1.0 mg/L 以下	1.0 mg/L 以下
A	2.0 mg/L 以下	3.0 mg/L 以下
B	3.0 mg/L 以下	5.0 mg/L 以下
C	5.0 mg/L 以下	8.0 mg/L 以下
D	8.0 mg/L 以下	
E	10.0 mg/L 以下	
—	類型未指定	

- 内の色はBOD75%値のランクを指す。
- 内の色はCOD75%値のランクを指す。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 及び□は環境基準を満足していない地点である。